

# 学校だより No.8

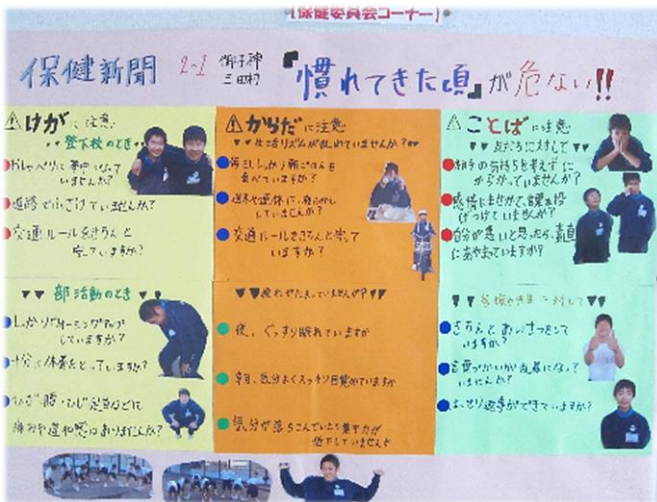
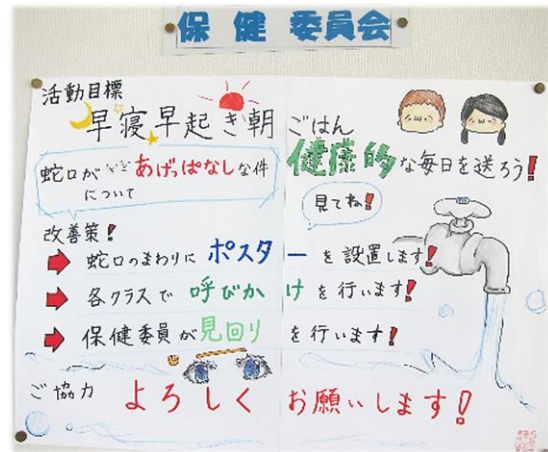
## ☆ 掲示物で見る南中の委員会活動

生徒総会が終わり、委員会が本格的に動き出しました。生徒会が生徒玄関に、各委員会の取り組みを紹介する「みんなの生徒会広場」という掲示コーナーを設置してくれました。

早速、「保健委員会」の活動目標や改善策が示されたものが掲示されています。また、保健委員会では、定期的に保健新聞を作っていますが、今回は学校生活に慣れてきた今だからこそ注意してほしいことについて紹介しています。新たな演技力抜群の生徒の写真を入れながら、楽しく分かりやすく注意を促しています。

整美委員会では、「南中ピカピカ大作戦！」という活動を行う予定です。どんな活動が繰り広げられるのか、楽しみです。

これから、いろいろな委員会の活動が紹介されると思いますが、生徒の皆さんも、ぜひ掲示コーナーや校舎内の掲示物に目を留め、活動をしっかりと知り、委員会活動に協力してください。



## ☆ 読書の時間も…

先日、図書館の本の貸し出し冊数の統計表をいただきました。1年生は4月、5月の貸し出し冊数が、100冊を超えているクラスがたくさんありました。部活動が本格的に始まっていない時期なので、じっくり読めたのかもしれませんが、中学生になると、勉強も部活動もたいへんですが、本を読む時間が少しでも作れるといいな、と思っています。



## ☆意識する こころが心掛ける



部活動を終えて、下校する皆さんに「さようなら」と声をかけるのも私の楽しみの一つです。精一杯がんばった後のちょっと疲れた顔や力いっぱい部活をやったという満足そうな顔、友だちと充実した時間を過ごしたという清々しい顔に出会うと、私も嬉しくなります。

「さようなら」の声に元気よく「さようなら！」と応えてくれる皆さんのさわやかな顔は生き生きとして素晴らしいと思います。

ところで、南中の現在の下校時刻は午後6時30分です。完全下校時刻なので、6時30分の時点で南中の敷地内には誰もいない状態になっていなければなりません。しかし、最近帰る時刻が6時30分より数分遅くなっています。帰る時刻が1分や2分くらい遅くなったところで特別何かが変わることはないかもしれませんが、たかが1, 2分のことです。でも、学校は皆さんが社会に出て立派に生活していくために必要なことを学ぶ場所です。たかが1, 2分が大変なことにつながることもあることを学んでほしいのです。

社会で働いている人たちは仕事や地域の役割などで、時間を守りながら暮らしています。時には重要な会議がありますし、大人になっても大切な試験などもあります。仕事の上で人に会って大事なお願いをすることもあります。そんな時に、約束の時間が守れない人を周りの人たちはどう思うのでしょうか。もしかすると、たかが1, 2分のことで信用を失ったり、仕事そのものを失ったりすることもあるかもしれません。



中学校生活の中で、特に時間が一生を左右することがあるのは受験です。遅れてしまえばみんなと同じ条件で受けられません。仮に試験自体は受けることができても、心の中は不安でいっぱいになります。試験会場の高校に着くまでの焦り、遅刻して高校に着いてからの不安。平常心で受験をすることは難しいでしょう。当然、結果も良いものになるとは思えません。

時間を守る、時間を意識するというのは、日々の習慣が大切です。時間を気にかけて、常に少し早目の行動をとるようにする癖を身に付けておくことが自分自身を守ることに繋がります。「たかが1, 2分 されど1, 2分」です。

同様に、中学校では、暑い時の服装、靴下の長さ、髪型、いろいろと細かく気をつかわなければならないことがあります。あいさつ一つをとっても、そうですが、今は、来たるべき社会に出るための練習をしているところです。大人になって、誰も教えてくれなくても、こういう時にはどうあいさつするか。こんな時には、どんな服装をすればいいのか。会議の何分前に到着しておけばよいか、などなど、自分で考えて、自分で判断して生きていくために、必要な経験を積んでいるのが中学校です。



大切なのは、今、どういう状況で、自分がどうなっていればいいのか。何をやる時なのか。何をすればいけないのか。そういうことを、自分で考えて、動けるようになることです。

先生から声を掛けなくても元気なあいさつができる。「急ぎなさい」と言われなくても下校時刻には誰もいなくなっている。先生が朝教室に行く前から、集中して朝読書や朝学習をしている。

言われる前に行動できるようになることを目指して、「意識して」「心掛けて」頑張りましょう。

